

第三次長野市教育振興基本計画(案)に対する 市民意見等の募集(パブリックコメント)の実施について

令和3年11月22日
教育委員会事務局総務課

(1) 計画策定の趣旨

- ・長野市教育の目指す姿の実現を図るため、教育の基本的な方針や講ずべき施策を体系的に定めることにより、教育施策の推進を図るもの
- ・「第二次長野市教育振興基本計画」（平成29年度～令和3年度）の計画期間終了に伴い、第三次計画として策定するもの

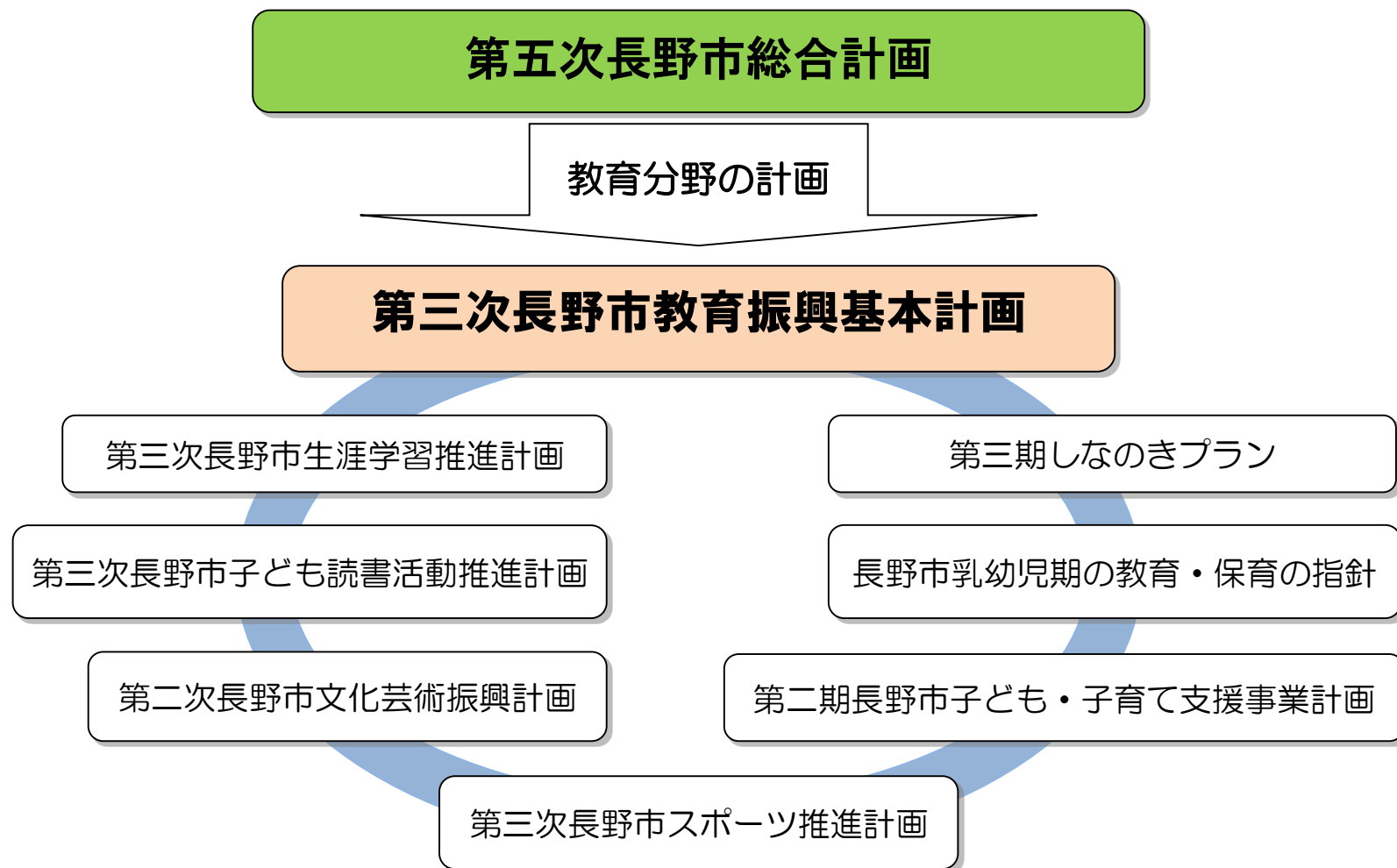
(2) 計画期間

令和4年度から令和8年度までの5年間

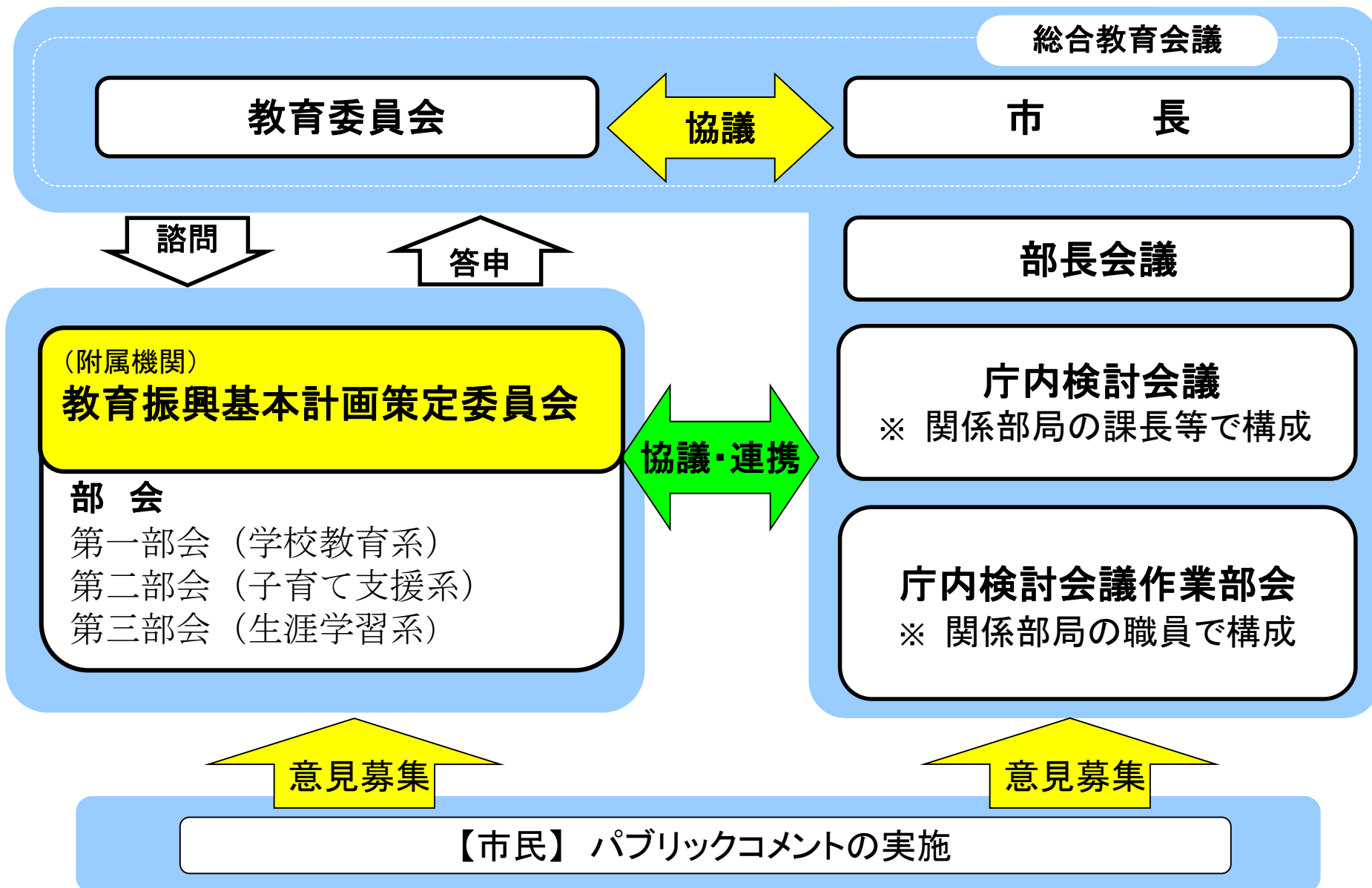
(3) 計画の位置付け

- ・教育基本法第17条第2項の規定に基づき、長野市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画として位置付け、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定に基づく「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」とする。

第三次長野市教育振興基本計画と関連する主な計画等



(4) 計画の策定体制



(5) 長野市教育の基本理念

明日を拓く深く豊かな人間性の実現

長野市は 市民の皆様とともに

広い視野から 思いやりの心を育み

自律心や豊かな情操 創造力を養い

自然と文化あふれる郷土に 誇りを抱き

明日を拓くための 深く豊かな人間性の実現をめざします

(6) 本市の教育を取り巻く社会情勢と課題

◇ 人口減少と少子高齢化の進行

少子化に対応した多様性ある集団の中で学び合える豊かな学習環境づくりや子どもたちの学びの保障の推進、また、「人生100年時代」の生涯において主体的に学び続け、一人一人が豊かな人生を送ることができる社会の体制の構築が求められている。

◇ 技術革新の進展

Society 5.0時代、ICTの普及を始めとした急速な技術革新の進展により、他者との新たな繋がりや豊かな未来の創造のため、一人一人がそれらを正しく理解し、適切に活用する資質能力を身に付ける必要がある。また、ICTを活用し子どもたちの多様な個性に応じた「個別最適な学び」と多様な他者との「協働的な学び」の一体的な推進により、自ら課題を見つけ、学ぶ、自立した学習者を育成していくことが求められている。

◇ 家族の多様化と地域社会の変容

近年共働きや核家族化など家庭のあり方が多様化し、地域社会もそれに伴い大きく変容している。また、教育を取り巻く環境の変化により、経済的格差による子どもの貧困問題や社会からの孤立化など、様々な問題を抱える子どもたちに対する支援を早急に講じることが必要となっている。全ての子どもたちの個性を尊重し、互いに認め合える社会を実現していくことが求められている。

◇ 「協働」を通じた「明日を拓く深く豊かな人間性の実現」

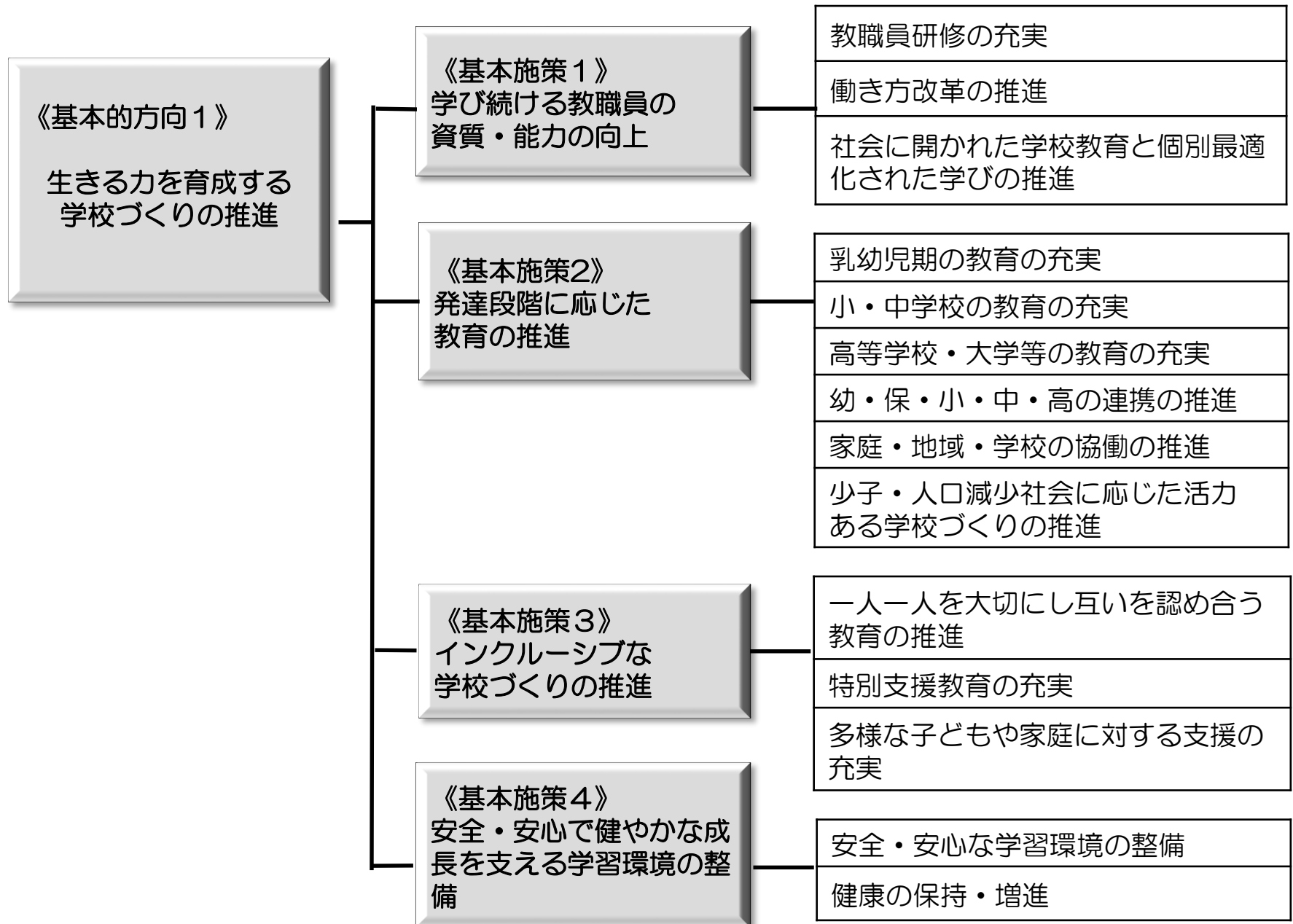
社会的背景の変化や顕在化する課題の複雑化・多様化により、行政や学校だけでは対応できない様々な教育課題が増え、家庭・地域・学校など各主体が個々に活動するだけでは課題解決が困難な状況にある。立場や見解の相違を前提としながら、多様な主体（家庭、地域、教育・保育施設、学校、事業所、団体・機関など）と協働し、SDGsが掲げる「誰一人取り残すことなく」学び支え合う持続可能な社会を創っていくことが求められている。

本計画では、「協働」をキーワードとした取組を積極的に推進することで、長野市教育の基本理念である「明日を拓く深く豊かな人間性の実現」を目指す。

（７）第三次計画の主な施策 （基本的方向１）

生きる力を育成する学校づくりの推進

- ◇学校は、ひとづくりの場です。予測困難な時代の中、これまで取り組んできた「基礎学力の定着」や「子どもたちの実態や地域の特色を生かした学習」を更に充実させることで「自学自習の資質能力」の伸張を図ります。
- ◇創造性や豊かな感性、たくましく生きるための健康・体力を育む、主体的で対話的な深い学びを通して、全ての子どもたちの知・徳・体を一体的にバランス良く育み、生きる力の育成を目指します。
- ◇子どもたち一人一人がかけがえのない尊厳を持った個人として自立し、互いを認め合いながら学び合う包摂的な学校づくりを推進していきます。
- ◇このような学びや学校づくりを推進していくために、教職員の資質・能力の向上を図る教職員研修を充実させていきます。

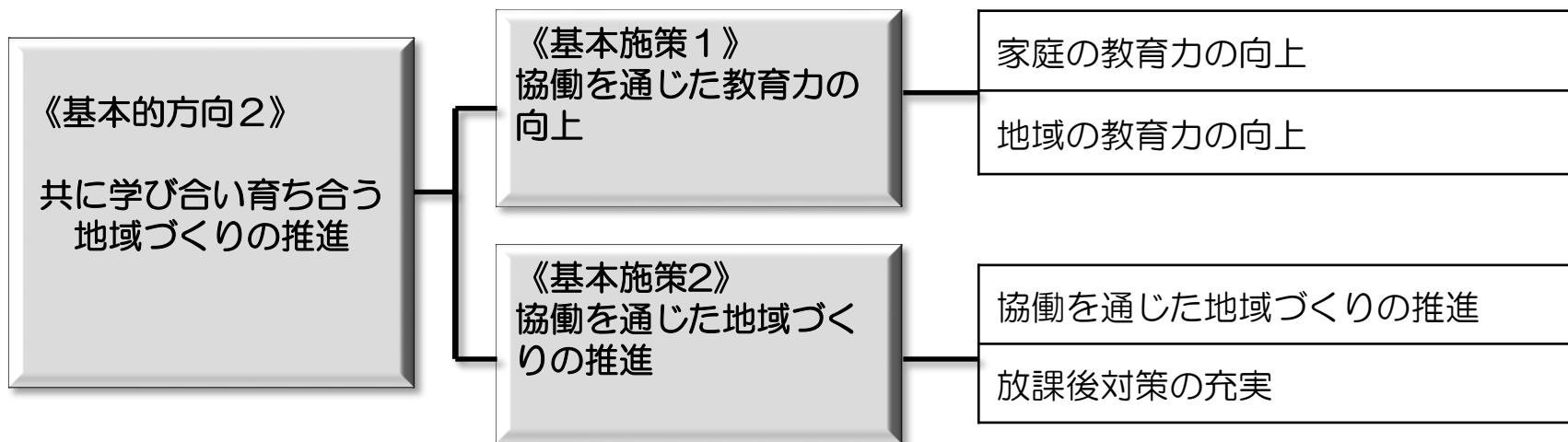


第三次計画の主な施策（基本的方向2）

共に学び合い育ち合う地域づくりの推進

◇家庭は、豊かな情操を培う場です。家族の多様化に伴い、基本的な生活習慣を身に付け、社会生活における規範意識を醸成し、細やかな心のふれあいで「絆」を育んでいくことができるよう家庭の教育力の向上と、親と子が共に育ち合うことを支える地域づくりを推進します。

◇子どもたちの「心身の調和のとれた発達と自立」を目指して、保護者同士や、地域、学校、PTAなど、様々な人々のつながりを深めながら、相互に協働し子どもたちの育ちと学びを支えていける地域づくりを目指します。

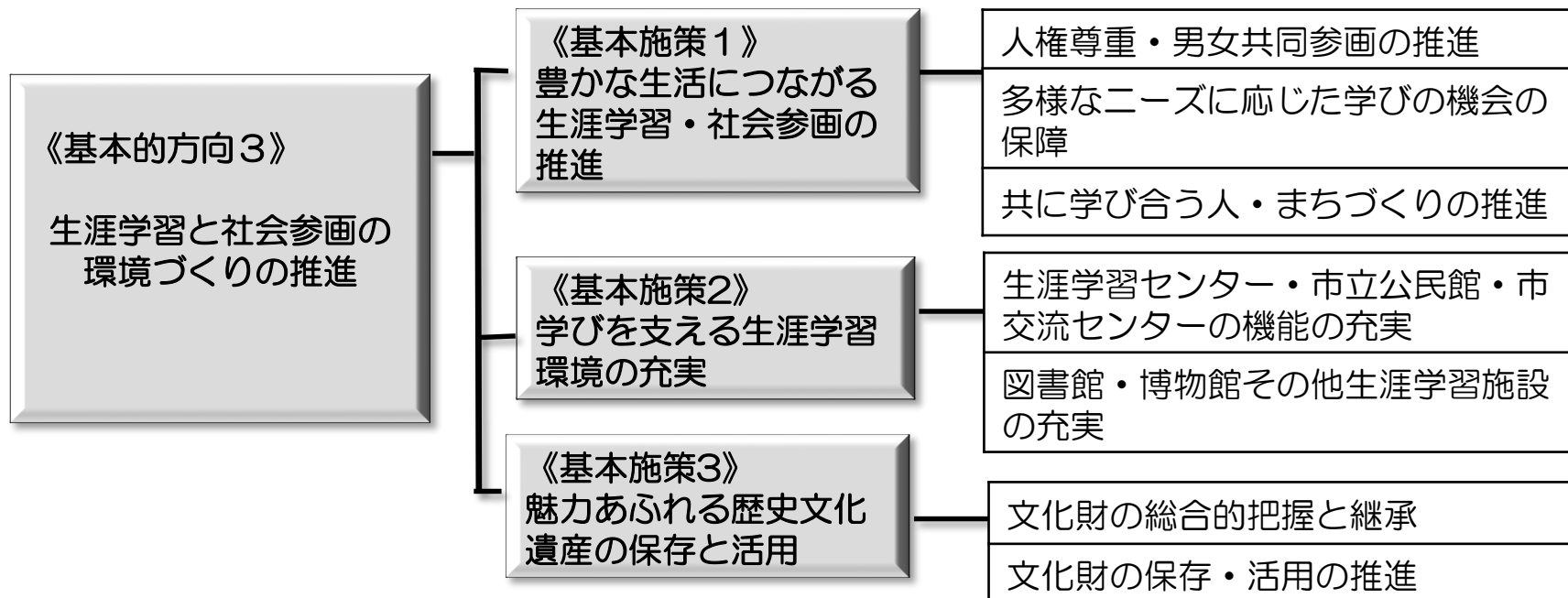


生涯学習と社会参画の環境づくりの推進

◇生涯にわたって学び続けることは、心を豊かにし、自己を高めることにつながります。

「人生100年時代」において、世代を超えて市民一人一人が主体的に学びに挑戦し探求していく機会とその環境を整備・充実させていくことで、市民一人一人の学び意欲に応えるとともに、その学びを生かして地域づくりに関わることのできる環境づくりを推進していきます。

◇現代社会に対応した多様な学びの機会の充実、地域における歴史文化等の継承、持続可能な社会の担い手を育成する機会の充実などを通じて、全ての人が尊重され心豊かな生活を送っていくことのできる住民主体の地域づくりを目指します。



(8) パブリックコメントの実施について

◆募集期間 令和3年12月6日（月）から令和4年1月5日（水）まで

◇計画（案）の閲覧及び「意見用紙」配布窓口

教育委員事務局会総務課、行政資料コーナー、各支所、各市立公民館、市交流センター
長野市生涯学習センター、市ホームページ

◇意見の提出方法（いずれも所定の様式「意見書様式」にて提出

●市ホームページの「ながの電子申請サービス」、持参、郵送、ファクシミリ
提出先：教育委員会事務局総務課及び各支所、各市立公民館、市交流センター
長野市生涯学習センター

◇意見等の公表

提出いただいた意見等への個別の回答は行わない。
後日、検討結果を市ホームページなどで公表する。

今後の予定

月日	スケジュール内容
1月中旬	パブリックコメントの意見検討
下旬	長野市教育振興基本計画策定委員会答申
2月上旬	計画決定 【総合教育会議・教育委員会・部長会議】
中旬	市議会報告
4月	第三次長野市教育振興基本計画スタート

(参 考) 第三次教育振興基本計画策定委員名簿

(50音順 敬称略)

12

氏 名	所 属	備 考
青柳 和男	長野市ＩＣＴ産業協議会	
荒井 英治郎	信州大学教職支援センター	委員長／第一部会長
伊藤 直子	長野市社会教育委員会議	第三副部会長
岡 正子	長野市専修学校各種学校協会	
上條 徳善	長野市社会福祉協議会	
小池 英樹	長野市立公民館連絡協議会	第二副部会長
小林 達矢	公募委員	
篠原 謙治	長野市校長会（川中島中学校）	第一副部会長
下山 真衣	信州大学教育学部	第二部会長
関 奈美	長野市PTA連合会	副委員長
玉城 司	長野市地方文化財保護審議会	
永田 邦和	長野市立図書館協議会	
羽田 奈緒	公募委員	
馬場 智一	長野県立大学グローバルマネジメント学部	第三部会長
藤澤 令子	公募委員	
松本 紀子	長野市身体障害者福祉協会	
水野 雅義	長野商工会議所	
峰川 暁見	長野市私立保育協会	
村田 みつ子	公募委員	
和田 典善	長野市幼稚園・認定こども園連盟	